

見本1：配偶者  
収入なしだが非課税証明  
書に収入金額がある場合

## 現況報告書 (被扶養者1人につき1枚必要)

記の通り報告いたします。本報告が事実と相違している場合、扶養の要件を満たしていない場合は、被扶養者の認定が遡って取消となることに同意し、取消日以降の給付金等について直ちに返納します。

西暦 ○○○○年 9月 3日

所属局(部)課名

○○○○○○○

連絡先(内線)

○○○○

組合員氏名 共済太郎 (自筆)

被扶養者氏名 共済花子 ( 37 ) 歳

続柄

配偶者 ・ 子 ・ 父 ・ 母 ・  
義父 ・ 義母 ・ 兄 ・ 姉 ・  
弟 ・ 妹 ・ その他 ( )

収入あり

パート ・ アルバイト ・ その他 ( )

事業 ・ 農業 ・ 不動産 ・ 配当等 ・ 学生 ・ 年金受給中

収入なし

無職 ・ 学生 ・ 年金未受給

別居の被扶養者あり (子は除く) ※送金額記入

毎月の送金額 ( ) 円

注) 被扶養者自身の収入+送金1年分=被扶養者総収入

送金1年分 $\geq$ 被扶養者総収入 $\div$ 3

特記事項

前年に短期のアルバイトを行ったため、  
非課税証明書に給与所得 166,092 円と記載があるが、現在は無職・無収入である。  
尚、今後アルバイト等を始めた場合は、速やかに申出ます。

※非課税(課税)証明書の収入金額に記載額がある場合は、その事由をご記入ください。

※証明書が添付できない(例:日本にいなかった等)場合は、その事由をご記入ください。

見本2：配偶者  
退職後扶養に入り雇用  
保険受給申請中の場合

## 現況報告書 (被扶養者1人につき1枚必要)

下記の通り報告いたします。本報告が事実と相違している場合、扶養の要件を満たしていない場合は、被扶養者の認定が遡って取消となることに同意し、取消日以降の給付金等について直ちに返納します。

西暦 ○○○○年 9月 3日

所属局(部)課名

○○○○○○○

連絡先(内線)

○○○○

組合員氏名 共済太郎 (自筆)

被扶養者氏名 共済花子 ( 37 ) 歳

続柄

配偶者 ・ 子 ・ 父 ・ 母 ・  
義父 ・ 義母 ・ 兄 ・ 姉 ・  
弟 ・ 妹 ・ その他 ( )

収入あり

パート ・ アルバイト ・ その他 ( )

事業 ・ 農業 ・ 不動産 ・ 配当等 ・ 学生 ・ 年金受給中

収入なし

無職 ・ 学生 ・ 年金未受給

別居の被扶養者あり (子は除く) ※送金額記入

毎月の送金額 ( ) 円

注) 被扶養者自身の収入+送金1年分=被扶養者総収入

送金1年分 ≥ 被扶養者総収入 ÷ 3

特記事項

西暦○○○○年○月○日に退職し、現在は無職・無収入であるが、別添雇用保険受給資格者証(写)のとおり、雇用保険受給申請による待機期間また給付制限期間中の為、待機期間の終了後は速やかに申出ます。

※非課税(課税)証明書の収入金額に記載額がある場合は、その事由をご記入ください。

※証明書が添付できない(例:日本にいなかった等)場合は、その事由をご記入ください。

見本3：配偶者  
海外に帯同していた場合

## 現況報告書（被扶養者1人につき1枚必要）

現在の扶養の状況について、下記の通り報告いたします。本報告が事実と相違している場合、扶養の要件を満たしていない場合は、被扶養者の認定が遡って取消となることに同意し、取消日以降の給付金等について直ちに返納します。

西暦 ○○○○年 9月 3日

所属局(部)課名

○○○○○○○

連絡先(内線)

○○○○

組合員氏名 共済太郎 (自筆)

被扶養者氏名 共済花子 ( 37 ) 歳

続柄

配偶者 ・ 子 ・ 父 ・ 母 ・  
義父 ・ 義母 ・ 兄 ・ 姉 ・  
弟 ・ 妹 ・ その他 ( )

収入あり

パート ・ アルバイト ・ その他 ( )

事業 ・ 農業 ・ 不動産 ・ 配当等 ・ 学生 ・ 年金受給中

収入なし

無職 ・ 学生 ・ 年金未受給

別居の被扶養者証あり (子は除く) ※送金額記入

毎月の送金額 ( ) 円

注) 被扶養者自身の収入+送金1年分=被扶養者の総収入

送金1年分 ≥ 被扶養者総収入 ÷ 3

特記事項

西暦○○○○年○月○日まで組合員とともに海外に帯同していたため  
非課税証明書を提出できない。

※非課税(課税)証明書の収入金額に記載額がある場合は、その事由をご記入ください。

※証明書を添付できない(例:日本にいなかった等)場合は、その事由をご記入ください。